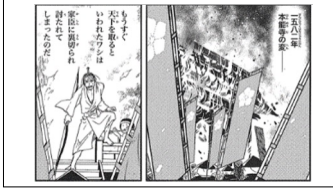


長久手古戦場記念館

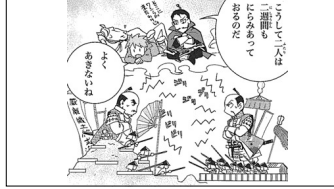
「りにもが見た！」

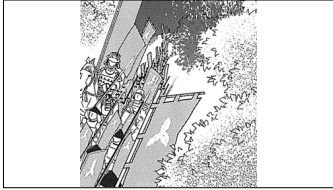
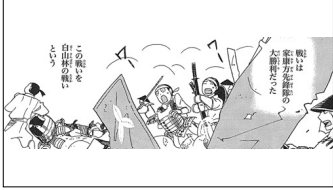
構成台本第2稿

約8分20秒

本紙ページ	本紙該当箇所	ナレーション・台詞	本紙ページ	本紙該当箇所	ナレーション・台詞
P12	C_01 	<NA> 1582年、本能寺の変。 もうすぐ天下を取ると言われていた織田信長は、 家臣に裏切られ、討たれてしまいます。 小牧・長久手の戦いが起きるのは、 その2年後のことでした。	P5	C_07 	<信長> 「りにも、お前は武将のことを何もわかっておらん」
P3	C_02 	<りにも> 「僕の名前は、りにも！戦国武将が大好きな小学生！」	P5	C_08 	<信長> 「来い！りにも！ 昔ここで起きたことをお前に見せてやろう！」 <りにも> 「ええっ」
P4	C_03 	<友人> 「男子って本当に戦国武将好きよね。 何がそんなにいいの？」	P6	C_09 	<信長> 「ワシの名は 織田信長！ この世を去って以来、こうして自由に時間と空間を 行き来しているのだ」
P4	C_04 	<りにも> 「そりゃあ敵をガンガン倒してさ、 鎧や武器もカッコイイし…」	P6-7	C_10 	<NA・タイトル> 「りにもが見た！小牧・長久手の戦い」
P4	C_05 	<信長> 「りにも！」	P7	C_11 	<信長> 「今は1584年の尾張・・・ 秀吉と家康がただ一度だけ直接対決した 小牧・長久手の戦いの直前だ」
P5	C_06 	<りにも> 「うわあ」	P13	C_12 	<NA> この小牧・長久手の戦いの背景には、 織田家における後継者争いがありました。 羽柴秀吉が信長の仇である明智光秀を討ちとり、 大きな力を持つことになり・・・

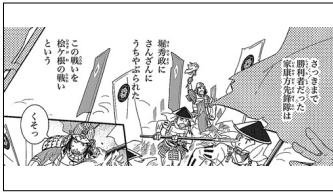
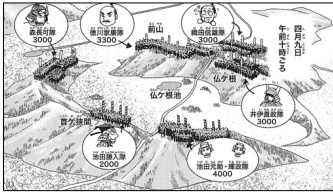
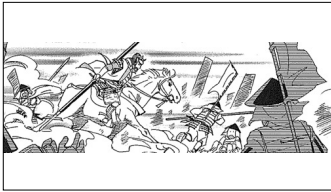
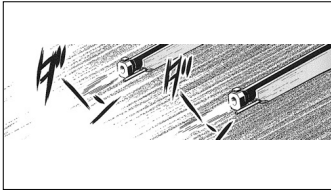
65秒/1分5秒

本紙ページ	本紙該当箇所	ナレーション・台詞	本紙ページ	本紙該当箇所	ナレーション・台詞
P13	C_13 	<NA> わずか二年で天下人をねらうまでになったのです。 35秒/1分40秒	P15	C_19 	<秀吉> 「おの家康め、大名たち、もうすぐ天下人のわしについたほうが、絶対に得じゃ」
P14	C_14 	<NA> 織田信長には、本能寺の変で亡くなった長男の信忠のほかに、信孝と信雄の息子がいました。 <信孝> 「秀吉、忘れてはおらぬか？ お前はわれら織田の家臣だぞ」	P17	C_20 	<家康> 「かかれーっ」 <NA> 兵を挙げた家康は、尾張の羽黒で秀吉側の武將、森長可に勝利しました。 <森長可> 「むうう」
P14	C_15 	<秀吉> 「何のご用ですか？ 何の実力もない織田家のアホ息子ども」 <信孝・信雄> 「ギャ」	P17	C_21 	<秀吉> 「なにっ、家康自ら戦いに出てきた？」 <NA> それを聞いた秀吉も大阪からかけつけ… (ました)
P14	C_16 	<NA> その後、秀吉に逆らった信孝は切腹させられ、	P17	C_22 	<信長> 「こうして二人は二週間もにらみあっておるのだ」 <りにも> 「よくあきないね」 <信長> 「いいや そろそろ・・・」 50秒/3分5秒
P14	C_17 	信雄は浜松の徳川家康に助けを求めました。 35秒/2分15秒	P18	C_23 	<秀吉> 「なんじゃと、家康の本拠地を攻める？」
P15	C_18 	<家康> 「秀吉は、主君の息子をないがしろにする大悪人だ。全国の大名よ、ともに戦おう」	P18	C_24 	<池田勝入> 「ハッ、このままでは一年も二年もにらみあいが続きます。われわれが別働隊となり、やつの本拠地岡崎を攻めます」

本紙ページ	本紙該当箇所	ナレーション・台詞	本紙ページ	本紙該当箇所	ナレーション・台詞
P18	C_25 	＜池田勝人＞ 「家康勢があわてふためき、 城の防備が手薄になったところを・・・」	P27	C_31 	＜三好秀次隊＞ 「い・・・家康勢だ？！なぜこんなところに」 ＜NA＞ 油断しきった秀吉方別働隊の本陣に、 追いついた家康方の先鋒がおそいかります。
P18	C_26 	＜池田勝人＞ 「後ろから秀吉様の本隊が、一気におそうのです」	P27	C_32 	＜榊原康政＞ 「行けーっ！！一人のこらず討ちとれ」
P20	C_27 	＜NA＞ こうして四月六日の夜、 二万の別働隊が岡崎へ出発しました。	P28	C_33 	＜NA＞ 戦いは家康方先鋒隊の大勝利に終わり、 この戦いを白山林（はくさんばやし）の戦いといいます。
P21	C_28 	＜家康＞ 「なにっ、秀吉方の別働隊が岡崎へ？」 ＜NA＞ それを聞きつけた家康は、 密かに別働隊を追いかけてました。	P29	C_34 	＜堀秀政＞ 「なにっ？！三好秀次様の本陣が大敗北？」
P26	C_29 	＜信長＞ 「みろ、あれが秀吉方の別働隊だ」 ＜りにも＞ 「先頭と本隊があんなにはなれている。 これじゃ大軍の意味がないな」	P29	C_35 	＜堀秀政隊＞ 「勢いにのって家康方先鋒隊はこちらに向かってます」
P27	C_30 	＜榊原康政隊＞ 「ウオオオオオオオオ！！」	P29	C_36 	＜SE・銃撃の音＞ ダーン！！ダーン！！ダーン！！

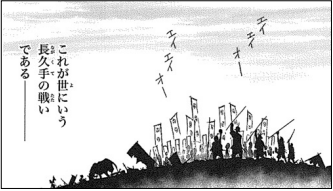
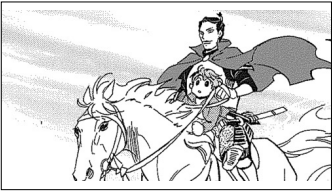
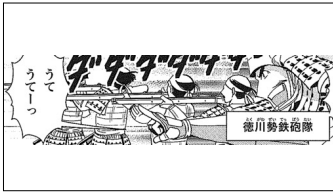
40秒/4分25秒

40秒/3分45秒

本紙ページ	本紙該当箇所	ナレーション・台詞	本紙ページ	本紙該当箇所	ナレーション・台詞
P30	C_37 	<榊原康政> 「しまった！！まちぶせが」	P34	C_43 	<NA> 赤い甲冑、赤い武器に身を包んだ部隊は、この戦いで勇猛さをとどろかせ、後に「井伊の赤鬼」とよばれるようになりました。
P30	C_38 	<堀秀政> 「三好秀次様の仇うちだ。榊原康政をやっつけろ」	P35	C_44 	<森長可隊> 「わが隊はしだにおされています。しかも敵は家康自らが指揮をとっており、兵のやる気がちがいます」
P31	C_39 	<NA> さっきまで勝利者だった家康方先鋒隊は、堀秀政にさんざんにうちやぶられました。この戦いを松ヶ根（ひのきがね）の戦いといいます。	P36	C_45 	<森長可> 「かくなるうへは・・・家康を道連れにしてやる！！ウオオオ」
P33	C_40 	<NA> そして、四月九日午前十時ごろ・・・	P36	C_46 	<家康隊> 「うわっ鬼武蔵だ」 「大変だ、鬼武蔵が本陣めがけて突進してきた」 「だ・・・誰か止めろ一つ」
P34	C_41 	<家康> 「いけっ！！」 池田勝入 「かかれー」	P36	C_47 	<水野勝成> 「鉄砲をあびせかけろ」
P34	C_42 	<NA> 家康勢は池田・森隊と対決、家康方の先鋒は井伊直政。 <池田隊> 「うわあ、何だあの真っ赤な部隊は」	P37	C_48 	<SE・銃撃の音> ダーン！！ダーン！！ダーン！！

30秒/5分30秒

35秒/5分

長久手古戦場資料館 「りにもが見た！」 台本					NO.5
本紙ページ	本紙該当箇所	ナレーション・台詞	本紙ページ	本紙該当箇所	ナレーション・台詞
P37	C_49 	<NA> “鬼武蔵”森長可、このとき年齢は29歳でした。 40秒/6分10秒	P41	C_55 	<NA> こうして総勢二万に及ぶ秀吉方別働隊は壊滅し、徳川方の大勝利に終わりました。 これが世にいう長久手の戦いです。 50秒/7分
P37	C_50 	<水野隊> 「鬼武蔵がたおれたぞーっ」 <森隊> 「本当か」 <水野隊> 「残るは池田勝入の隊だけだ」 <森隊> 「わが隊はもうダメだ」	P42	C_56 	<信長> 「どうだ、りにも。本物の戦国武将は？」
P40	C_51 	<徳川勢鉄砲隊> 「うて、うてーっ」 <SE・銃撃の音> ダーン！！ダーン！！ダーン！！	P42	C_57 	<りにも> 「うん・・・ いままで戦国武将は強いからカッコイイと 思ってたんだけど・・・」
P40	C_52 	<池田隊> 「勝人様はやく」 <池田勝入> 「わしはここでよい」	P43	C_58 	<りにも> 「本物の武将たちは、 誰もが自分の生き方をつらぬいて、 勝った人も負けた人もみんなすごくカッコよかった」 30秒/7分30秒
P40	C_53 	<池田勝入> 「信長様の亡きあと、 強い秀吉につき、 うまく生き残ったつもりだったが・・・ フフ・・・」	P46 P47 勝人塚 長久手城趾 武蔵塚 色金山 御旗山 庄九郎塚	C_59 	<りにも・オフナレ> 「なにげなく通っている場所の名前、 なにげなく立っている石碑」
P41	C_54 	<NA> 勝入に続き池田元助も討たれました。 これを仏ヶ根（ほとけがね）の戦いといいます。		C_60 	

本紙ページ	本紙該当箇所	ナレーション・台詞	本紙ページ	本紙該当箇所	ナレーション・台詞
P46 P47 勝入塚 長久手城跡 武威塚 色金山 御旗山 庄九郎塚	C_61 	<りにも・オフナレ> 「でもじつは、 そのひとつひとつに昔大変な出来事があって、 ひとつひとつに、それを次の時代の人たちに 伝えていこうとした人たちの思いがある」 たしかにそこにいた人たちが、 きっとぼくらに知ってほしいと願っている、 かつてここで起きたこと、たくさんの物語を」 50秒/8分20秒			
	C_62 				
	C_63 				
	C_64 				